



2011年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月5日

代表取締役社長
實吉 繁幸

	ページ
2011年3月期第2四半期決算	…… 3 – 14
当社の経営戦略	……16 – 21



**2011年3月期
第2四半期決算**

● 経営環境(中期的なトレンド)

- 経営の効率化・リスクマネジメント強化、医療のIT化
- 医療費抑制策で医療機器は金額ベース伸び鈍化
- '08年下期から経済不況、医療支出減少。
医療提供体制の充実(民主党公約)あるが財源に懸念
- ROBOの国内市場開拓率:大病院 65%、中病院 10%
- 輸出:新市場の開拓と既存市場の拡充

● 上期の経営環境

- 診療報酬のプラス改定 : ROBOの更新需要に改善の兆し
- 円高基調の定着 : 輸出の拡大に急ブレーキ

主な取組み

➤ ROBO

大病院 ⇒更新需要の捕捉 ⇒売上総利益率改善
中病院 ⇒新規開拓の加速
健診センター ⇒販路拡大

➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び
動物病院、小病院へも販路拡大

➤ 輸出の拡大

円高の下、前期大口案件の反動もあり苦戦

➤ 新製品

静脈可視化装置：ROBOと併売、麻酔科・小児科へ販売
酸化ストレスマーカー：販路開拓（小児科、NICU、健診、スポーツ
医学、クリニック、研究室等）

決算サマリー

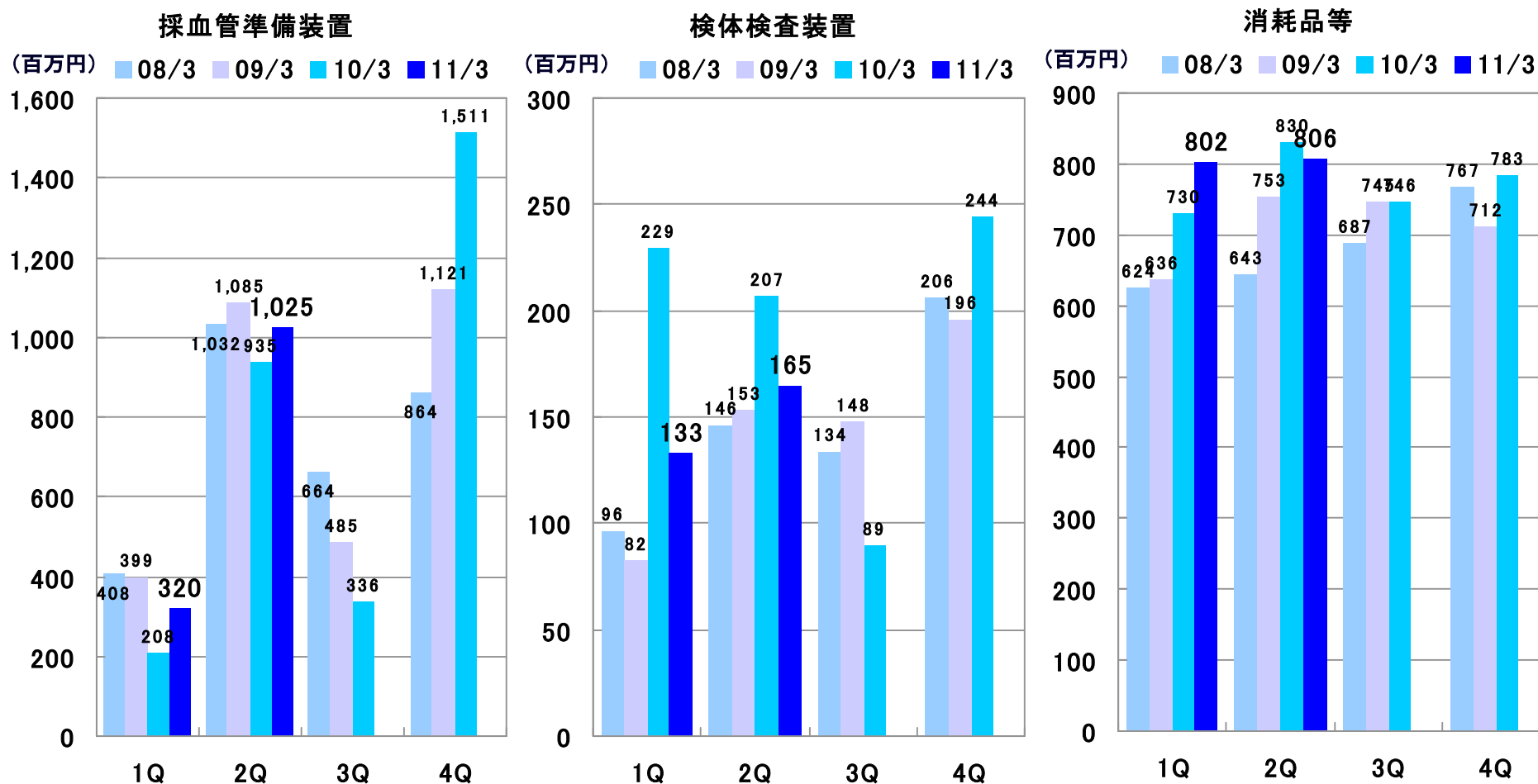
	2009年 4-9月期		2010年 4-9月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	3,258	100.0	3,393	100.0	+ 4.2
(期初見通し)	3,250	100.0	3,354	100.0	+ 0.1
営業利益	579	18.7	540	15.9	△ 6.6
(期初見通し)	503	15.5	475	14.2	△ 17.3
経常利益	582	18.9	542	16.0	△ 6.7
(期初見通し)	505	15.5	477	14.2	△ 17.5
純利益	356	11.0	354	10.4	△ 0.6
(期初見通し)	305	9.4	283	8.4	△ 14.8
1株当り純利益(円)	12,197	----	12,127	----	△ 0.6
1株当り純資産(円)	242,448	----	261,629	----	+ 7.9

品目別売上高(年度別・半期別)

(単位:百万円)

	2008年	2009年	2010年	2009年	2010年	
	3月期	3月期	3月期	4-9月期	4-9月期	前年同期比(%)
採血管準備装置	2,969	3,091	2,991	1,143	1,346	+ 17.8
構成比(%)	44.5	45.9	42.4	35.1	39.7	-----
検体検査装置	583	581	770	437	299	△ 31.6
構成比(%)	8.7	8.6	10.9	13.4	8.8	-----
消耗品等	2,721	2,847	3,091	1,561	1,609	+ 3.0
構成比(%)	40.8	42.3	43.8	47.9	47.4	-----
その他	392	209	201	115	138	+ 19.7
構成比(%)	5.9	3.1	2.9	3.6	4.1	-----
合計	6,668	6,730	7,055	3,258	3,393	+ 4.2

品目別売上高(四半期別)



採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2008/4-9月	2009/4-9月	2010/4-9月
納入施設数	110	89	107
国内	81	74	71
内、新規	48	27	22
内、更新	33	47	49
輸出	29	15	36



・国内の納入推移(含む更新)

	08/9	09/9	10/9
大病院	72%	68%	76%
中病院	27%	31%	23%
その他	1%	1%	1%

・平均納入単価(国内+輸出)

‘10/9:12.6百万(前期:12.8)

←横ばい

・国内:更新(大病院)増加、
粗利率改善。

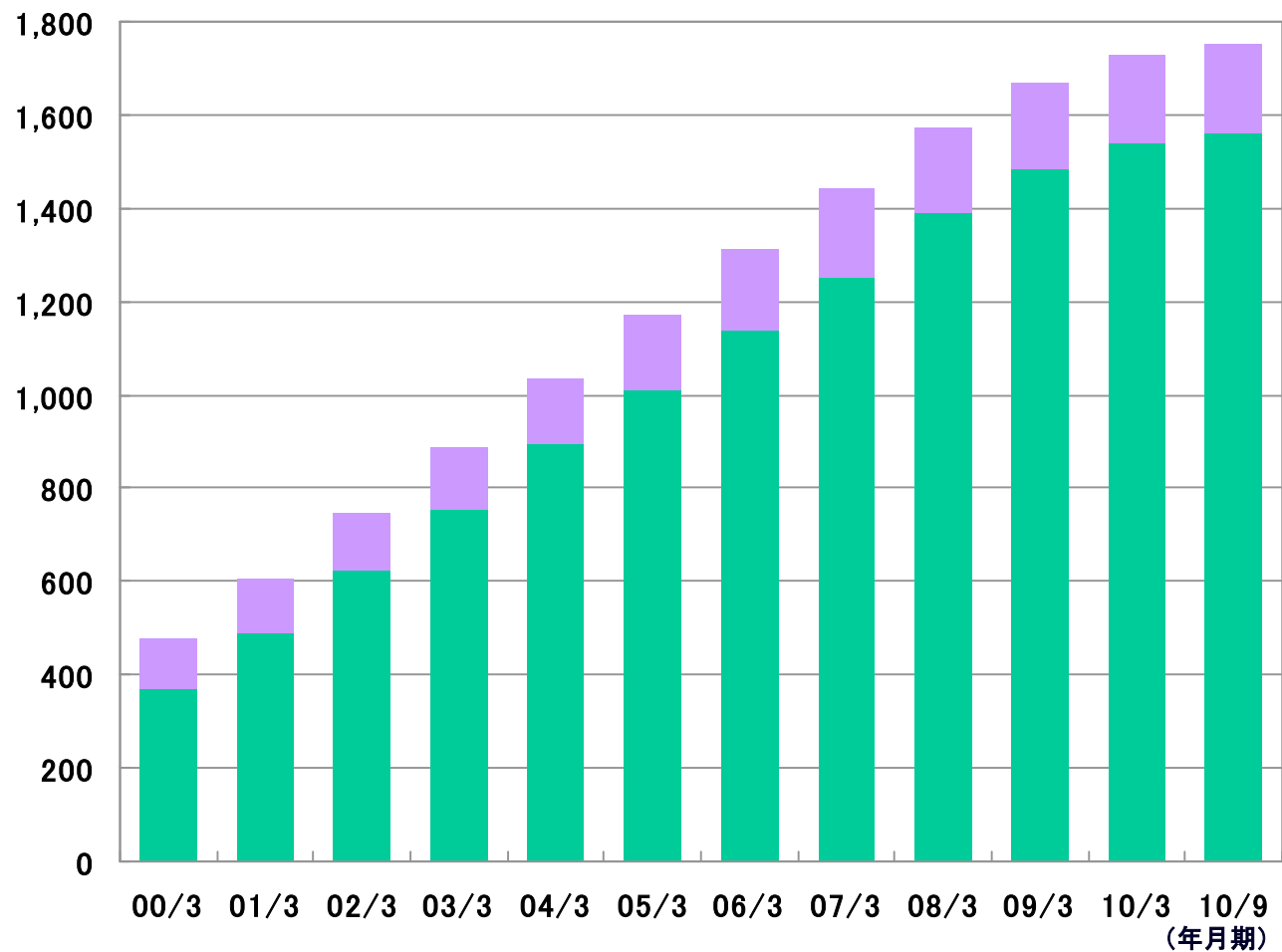
新規やや低調

・輸出:販売数及び単価増加

	2009年3月期	2010年3月期
納入施設数	240	216
国内	183	180
内、新規	92	70
内、更新	91	110
輸出	57	36

採血管準備装置 - 納入施設の推移

(累計施設数)



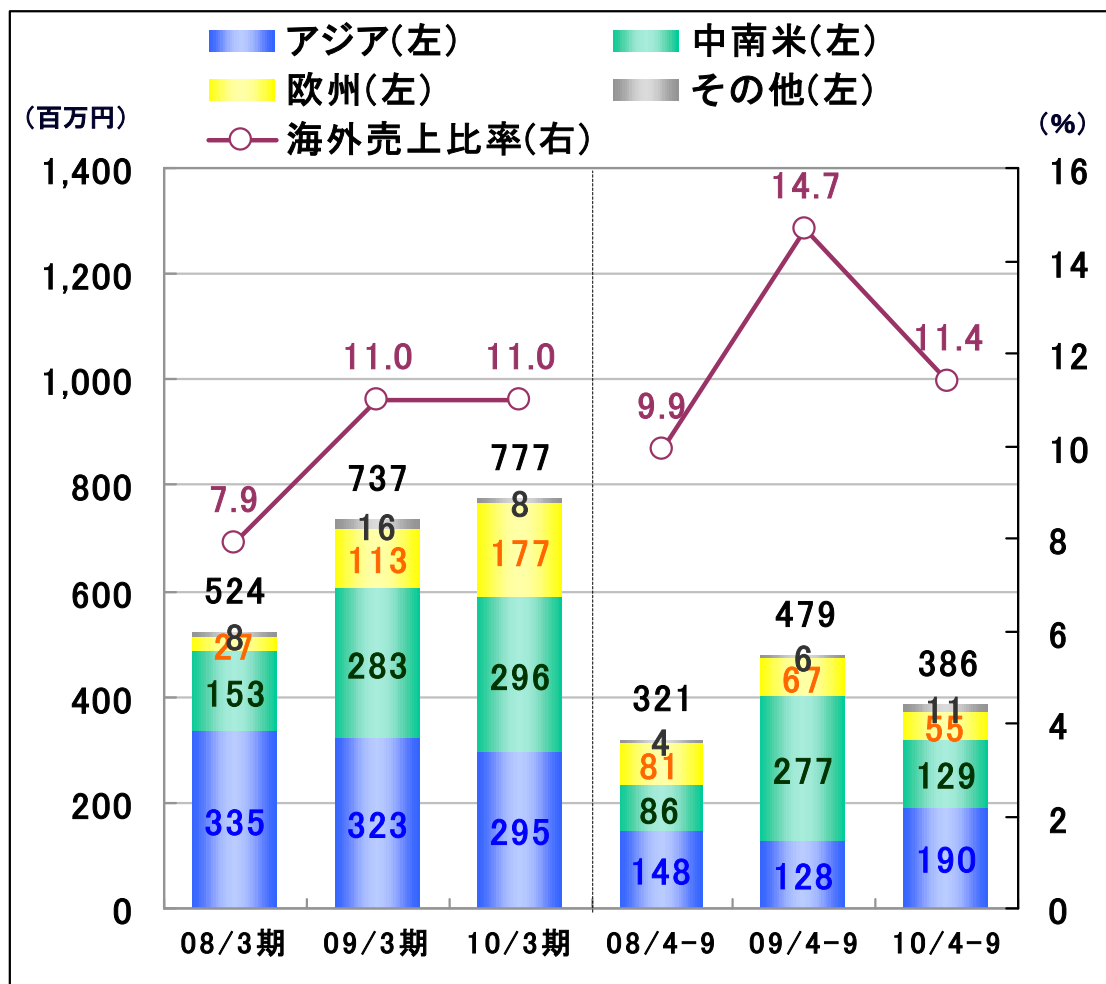
他社納入数
(193施設)

当社納入数
(1,561施設)

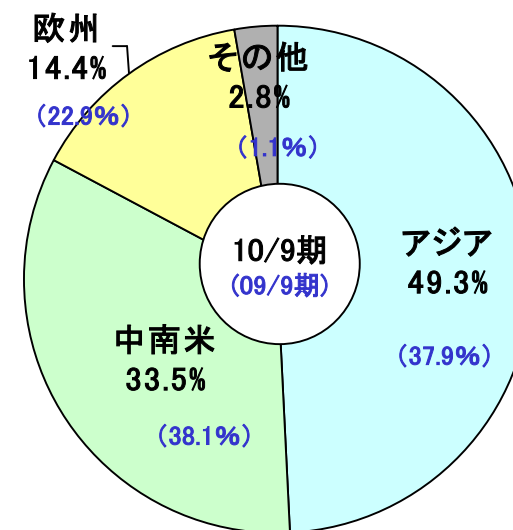
シェアー 89.0%

(出所: 当社データ)

海外売上高



地域別の売上構成比



09/4-9: 中南米向け
血液ガス装置・消耗品
の売上が寄与

要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2009年4-9月期		2010年4-9月期			2010年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	金額	百分比
売上高	3,258	100.0	3,393	100.0	+ 4.1	7,055	100.0
売上原価	1,748	53.7	1,719	50.7	△ 1.7	3,876	54.9
売上総利益	1,509	46.3	1,674	49.3	+ 10.9	3,179	45.1
販売管理費	930	28.5	1,133	33.4	+ 21.8	1,908	27.0
人件費	440	13.5	465	13.7	+ 5.7	871	12.3
研究開発費	176	5.4	331	9.8	+ 88.1	414	5.9
その他	314	9.6	337	9.9	+ 7.3	623	8.8
営業利益	579	17.8	540	15.9	△ 6.7	1,270	18.0
経常利益	582	17.9	542	16.0	△ 6.9	1,274	18.1
法人税等合計	225	6.9	186	5.5	△ 17.3	490	6.9
当期純利益	356	10.9	354	10.4	△ 0.6	784	11.1

要約貸借対照表【資産の部】

	2010年3月末		2010年9月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動資産	8,464	84.0	8,108	83.6	△ 356
現預金	3,696		4,075		+ 379
売上債権	3,673		2,920		△ 753
棚卸資産	1,037		1,046		+ 9
その他流動資産	58		66		+ 8
固定資産	1,607	16.0	1,591	16.4	△ 16
有形固定	1,334		1,314		△ 20
無形固定	9		9		+ 0
投資等	264		267		+ 3
資産合計	10,072	100.0	9,700	100.0	△ 372

要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2010年3月末		2010年9月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動負債	2,218	22.0	1,711	17.6	△ 507
買入債務	1,563		1,058		△ 505
短期有利子負債	144		116		△ 28
その他流動負債	509		536		+ 27
固定負債	346	3.4	348	3.6	+ 2
長期借入金	0		0		+ 0
その他固定負債	346		348		+ 2
負債合計	2,565	25.5	2,060	21.2	△ 505
純資産合計	7,507	74.5	7,639	78.8	+ 132
負債・純資産合計	10,072	100.0	9,700	100.0	△ 372

要約キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2009/4-9月	2010/4-9月	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	271	640	+ 369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 201	△ 72	+ 129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 264	△ 250	+ 14
現金・現金同等物の増加額	△ 194	317	+ 511
現金・現金同等物の期首残高	2,178	2,282	+ 104
現金・現金同等物の期末残高	1,983	2,599	+ 616
研究開発費	176	331	+ 155
設備投資実施額	132	9	△ 123
減価償却実施額	16	21	+ 5



当社の経営戦略

2011年3月期業績見通し

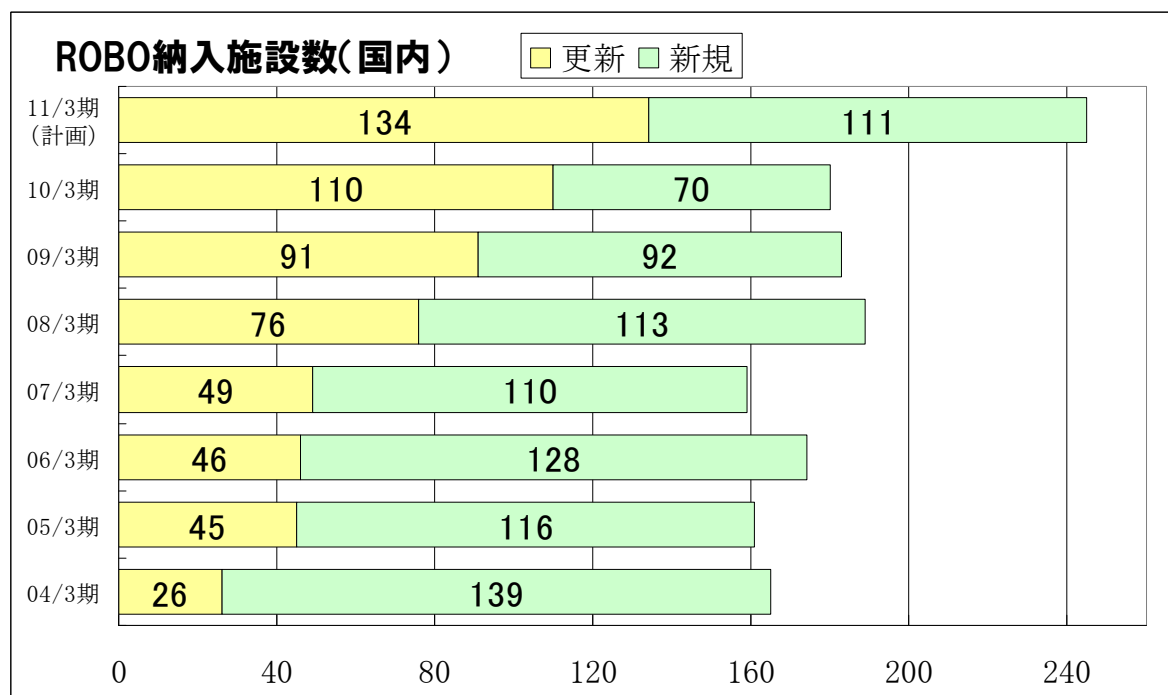
	2010年3月期		2011年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）	前期比（%）
売上高	7,055	100.0	8,225	100.0	+ 16.6
営業利益	1,270	18.0	1,644	20.0	+ 29.4
経常利益	1,274	18.1	1,647	20.0	+ 29.3
当期純利益	784	11.1	978	11.9	+ 24.7

研究開発費	414	5.9	557	6.8	+ 34.5
設備投資額	155	2.2	0	0.0	—
減価償却費	38	0.5	42	0.5	+ 10.5

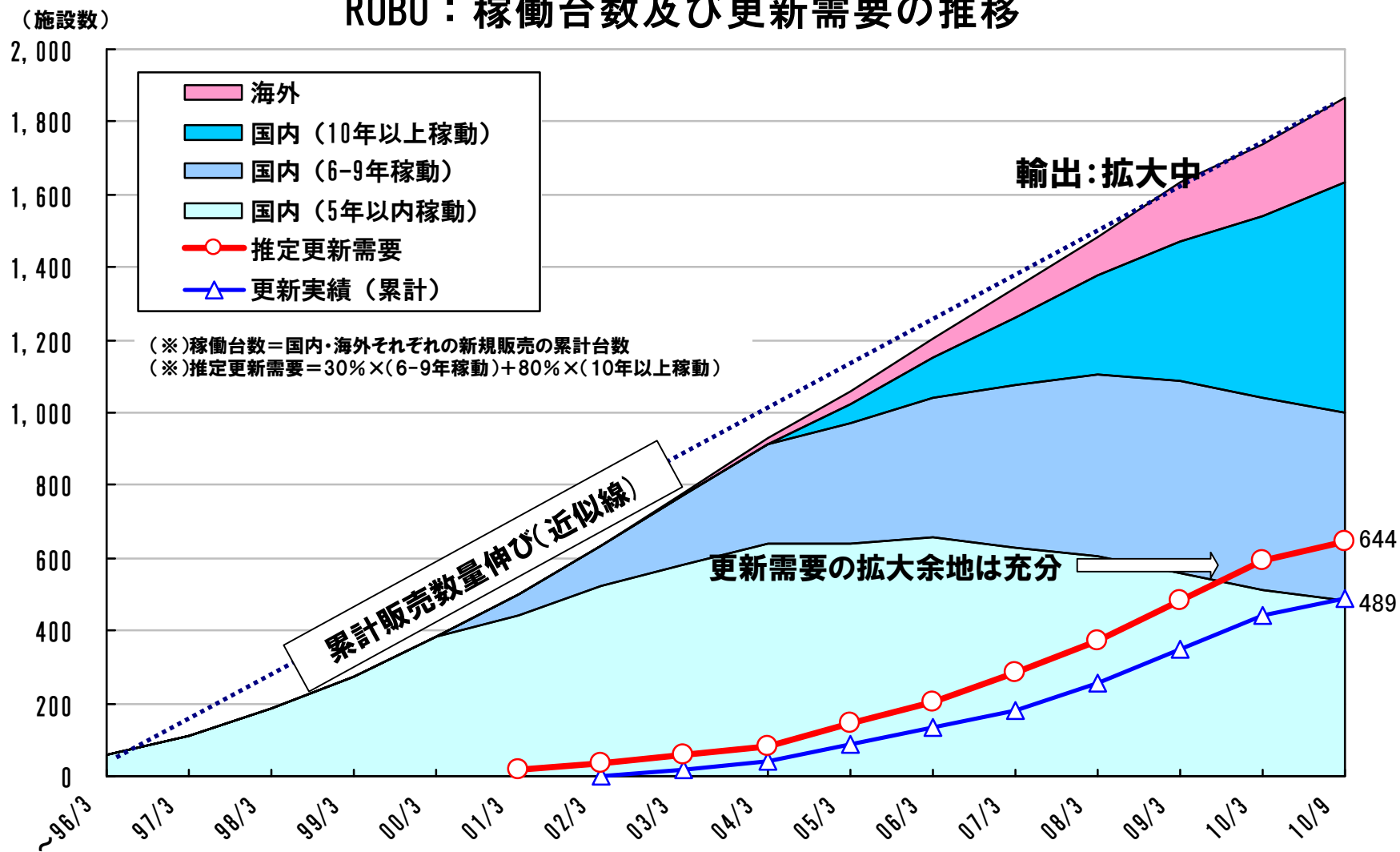
下期の課題①

▶ ROBO

- ◆ 引続き更新需要(大病院向け)の着実な捕捉
- ◆ 輸出拡大(新製品・新市場)



ROBO：稼働台数及び更新需要の推移



下期の課題②

▶ 検体検査装置

- ◆ 引続き販路拡大
- ◆ 後継新製品の販売強化



血液ガス分析装置
「G-1800シリーズ」



ハンディ型血液ガス分析装置
「GASTAT-navi」

▶ 輸出の拡大

- ◆ 新市場の開拓
- ◆ 既存市場での販売体制の強化



非接触型静脈可視化装置
「StatVein」

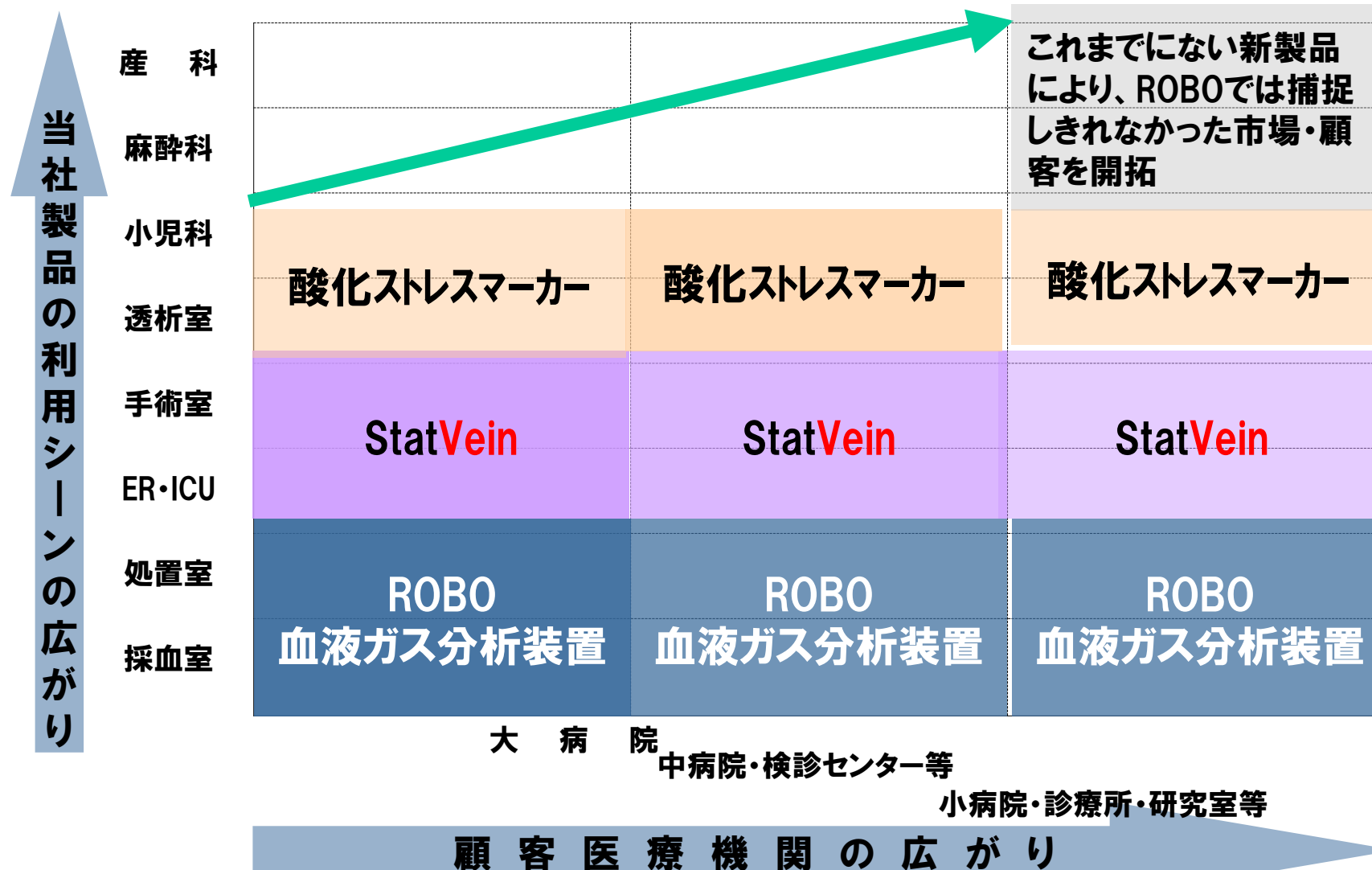
▶ 新製品

- ◆ 静脈可視化装置「StatVein」
小児科・麻酔科等の新規販路開拓
- ◆ 酸化ストレスマーカー
新規販路開拓(大学の研究室等)



尿中酸化ストレスマーカー
(8-OHdG)測定システム

新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



中期事業計画(2011/3期~2013/3期)

最重要テーマ

➤ スケールアップ

● 売上高伸び率目標 +12.5%~+15.0%

➤ 高収益率

● 売上高経常利益率 20%

課題と施策

- ① 市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
- ② 輸出売上の飛躍的拡大
- ③ 今後急増する国内ROBO更新需要の確実な捕捉

<注意事項>

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。